

地域子育て支援事業「たねっこ」紹介資料

～地域で子どもを育てる～

御南中学校区地域支え合い活動実行委員会

【季節の行事～日本の歳時を大切に～】

季節の行事、日本の歳時を大切に思いながら活動します。例えば、七夕の会では自分達で笹を取りに行くところから行い、また夏の風物詩そうめん流しもみんなで楽しめます。節分では、七輪でいわしを焼き、恵方巻を食べ、その意味も子ども達に分かりやすく伝えます。



【公園で五感を使った自然遊び・水遊び】

「人格形成期」と呼ばれる乳幼児期にとって重要な自然体験を行うことで、生きる力を育むことができます。しっかり見て、触れて、五感を使います。



【まずは土づくりから。無肥料無農薬の農園活動】

近隣保育園2園と協働し、ランチ花壇を活用しながらジャガイモ、サツマイモなどを育てる活動をしています。「土を作る→植える→手入れする→観察する→収穫する→一緒に食べる→草やツルはコンポスト利用→コンポストでできた堆肥を混ぜ土を作る」という、無肥料、無農薬の自然栽培で、小さな循環社会を実践しています。土から抜ける瞬間の子ども達の真剣な表情は何とも言えません。



【野外調理（掘ったおいもで焼き芋パーティー）】

農園で収穫したサツマイモをみんなで焼き芋にして食べます。



【日々の見守り愛活動～みんなでみんなを見る～「ななめの関係性の構築」】

多世代の地域の方が見守りボランティアとして参加し、親子にとって家族でも教師でもない第三者との関係＝「ななめの関係性」作りができています。



【食べることは生きること～みんなで一緒に食を囲む～】

核家族化が進む中、また転勤族が多いこの地域で、家族以外と食卓を囲む機会が少なくなっている今、みんなで一緒に作って食べることも大切にしています。旬の野菜を使い、手作りのお昼ご飯をみんなでいただきます。



【学生との連携（若者ボランティア）】

主に地元御南中学校・岡山大学教育学部・山陽学園大学との連携で学生ボランティアが多く参加し、子ども達には「大きいおにいちゃんおねえちゃん」として大人気。中学生にとっては、自己有用感が高まり、地元への愛着を育むと共に、近い将来社会の一員として活躍するための自信となることが期待できます。

